

【ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー 2016 特別優秀賞・優秀企業賞受賞記念講演】

# 賢い住まいづくりセミナー 2018

参加料・駐車料 無料

## 2018年3月11日(日)

◆受付開始/13:00 ◆講演開始/13:30 ◆終了予定/15:30

### 場 所

かごしま環境未来館 多目的ホール  
鹿児島県鹿児島市城西二丁目1-5  
TEL:099-806-6666 (代表)

### 講演内容

【第一部】住宅の断熱不足が健康に与える影響と対策  
～『HEAT20 高性能住宅生活実態調査』の報告～  
【第二部】実際に住まわれている方からの声(パネルディスカッション)  
～実際に入居してから気付いた生活環境の変化について～

## HEAT20

Investigation committee of Hyper Enhanced insulation and Advanced Technique for 2020 houses

### 2020年を見据えた住宅の高断熱化技術開発委員会

株式会社 松下孝建設は鹿児島県で唯一のHEAT20賛助会員です

深刻化の一途を辿る地球温暖化とエネルギー問題。

その対策のために「2020年を見据えた住宅の高断熱化技術開発委員会」が2009年発足しました。

HEAT20はその略称であり、呼称です。

HEAT20は長期的視点に立ち、住宅における更なる省エネルギー化をはかるため、断熱などの建築的対応技術に着目し、

住宅の熱的シェルターの高性能化と居住者の健康維持と快適性向上のための先進的技術開発、評価手法、

そして断熱化された住宅の普及啓蒙を目的とした団体です。メンバーは研究者、住宅・建材生産者団体の有志によって構成されています。

欧米などでは、民間の関係団体が中心となり、自らの技術開発の目標とする、国民の関心を高めるため、国の制度・基準とは一線を画して、「望ましい姿」を民間主導で提案する取り組みが盛んに行われています。そして、それらの先導的な活動が足元の技術力を引き上げ新たな技術基準を生み出しています。

日本でもこれらと同じ取り組みをという想いから、HEAT20はスタートしました。

松下孝建設は、鹿児島県で唯一のHEAT20賛助会員として、昨年12月に同団体が全国的に実施した「高性能住宅生活実態調査」に参加協力。

HEAT20でWG主査を務める岩前教授が来鹿され、直接、松下孝建設の住宅にお住いの皆さまへヒアリング調査を実施しました。

今回のセミナーでは、その調査結果を踏まえて、高気密高断熱住宅での健康改善効果・省エネ効果を具体的な実例を元に講演していただきます。

### 講師紹介



近畿大学 建築学部長 建築環境システム研究室

岩前 篤 教授・博士

昭和39年和歌山県生まれ。昭和60年神戸大学院工学部研究科を終了後、大手ハウスメーカーに入社し、住宅の断熱・気密・防露に関する研究開発に携わる。平成7年、神戸大学にて博士号を取得。平成15年春にハウスメーカーから退社したのち、近畿大学工学部建築学科に助教授として就任。平成21年に同教授、平成23年に新設された建築学部の学部長に就任し、現在に至る。経済産業省建材トップランナー制度審議会委員、環境省温暖化対策住宅分科会委員、国土交通省スマートウェルネス住宅研究委員会委員、HEAT20WG主査

【主な研究テーマ】

「建築物の省エネ・ゼロエネ化手法の研究」

「建築物の健康・安全評価」「暖冷房・換気設備の高効率化」「パッシブ手法の開発」

【TV出演】

「ミラクルインシュタイン」日本テレビ系 2017年2月28日放送

【お問合せ・お申し込み先】お電話または、左記QRコード『松下孝建設HP』よりお問合せ下さい

株式会社 松下孝建設 〒891-0108 鹿児島市中山1丁目14-29  
TEL:099-267-7594 FAX:099-269-5027



# 高気密・高断熱の住まい

岩前篤教授が発表されている研究より一部抜粋

## 断熱による健康改善効果

断熱化のメリットは、『寒くない』『暑くない』だけではありません。

断熱のこと、しっかり検討してみませんか？

## 断熱化することで、現在の健康状態の改善にも繋がります

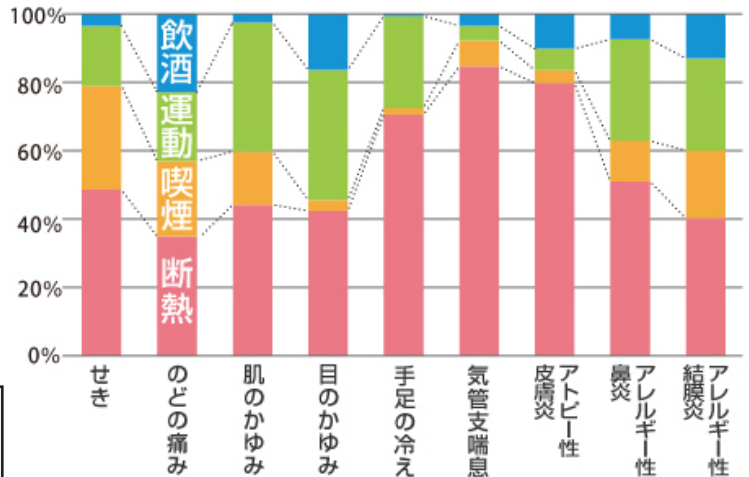
健康のために禁煙をしたり、食生活などの生活習慣に気を使っている方も多いのではないのでしょうか？

でも、実は生活習慣の見直しよりも住宅の断熱性能の改善のほうが重要なんです。

日本ではあまり知られていませんが、欧米では住宅の断熱性能と健康の関係は誰もが知っている常識。

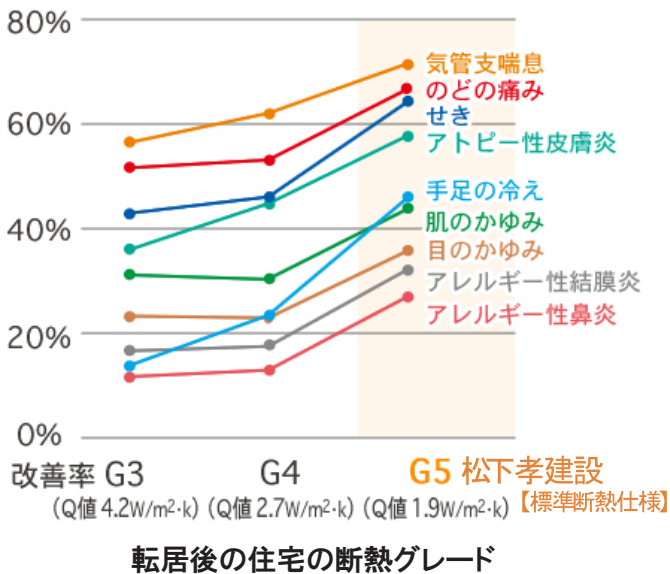
風邪や冷え性だけでなく、アトピー性鼻炎など、アレルギーの改善にも効果があることがわかっています。

『飲酒』『運動』『喫煙』『断熱』の4つの要素のうち、『断熱』が最も健康改善に効果があります。



### 高断熱住宅の健康改善効果

$$\text{改善率} = \frac{\text{新しい住まいで出なくなった人}}{\text{前の住まいで出ていた人}}$$



省エネで考えると、国が定める省エネ基準 (Q 値 2.7W/m<sup>2</sup>・k) 程度の断熱性があれば十分だと考えられていましたが、さらに断熱性能を上げると、健康改善に効果がありことがわかっています。

- 肩こりが軽くなった
- 腰の痛みがなくなった
- 風をひきにくくなった
- 子供のアトピーが出なくなった

## 家の中の気温差が引き金となる『ヒートショック』の防止

暖房の効いた暖かい部屋から浴室やトイレなどの寒い部屋に移動したとき、急激な温度変化により血圧が変動し、脳出血や脳梗塞、心筋梗塞等を引き起こすきっかけとなります。ヒートショックに関する死亡者は、交通事故で亡くなる方の3倍に及ぶと言われています。

住宅を断熱することは、室内の温熱環境の改善による快適性の向上だけでなく、20℃近い急激な温度変化で生じるヒートショックの防止にも役立ちます。